



「ドッグラン」設置の要望書を当協会から芦屋市当局に提出してありましたところ11月21日付で市長からの回答がありました。その内容は右のとおりです。

「ドッグラン」の設置については、犬好きの間でも意見は様々で賛否両論色々あるようです。いずれにしても(ドッグランの有る無しに関わらず)他人に対する配慮に欠けた飼い主さんのマナーの向上と犬の躰が必要不可欠であるのは確かなことでしょう。犬をノーリードで自由に放すことの出来る広い土地さえあれば、それで全てが解決するわけではないことを私達は十分に理解して、これからの犬との暮らしを考えていかねばならないと思います。

「ドッグラン」設置の要望について(回答) 抜粋

芦屋市長 山中 健

近年、犬を飼う人が増え、市内の公園や芦屋川の河川敷等で犬を散歩させる姿をよく見かけます。愛犬家の皆さんにとって、「犬を自由に力いっぱい走り回らせてやりたい」という気持ちはよく分りますが今のところ市内にはそういった施設がありません。ドッグランを設置することにつきましては、以前から議会等でも取り上げられておりますが、様々な問題があるため、未だ実現の目途が立っておりません。

ご要望の総合公園は、市内で最も広い公園ですが、ドッグランを設置するためには、安全上・衛生上の問題から、一般利用者とドッグランコーナーをフェンス等で仕切る必要があり、かなり広い場所を占有することになります。さらに、犬の糞尿や鳴き声等、公園の一般利用者や近隣住民への影響も避けられません。そのようなことから、比較的民家に近い市街地の公園ではドッグランの施設を設置することは現状では困難と考えますので、ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

猫家族が選んだモデルハウス

某住宅メーカーのモデルハウスに勤務している私が猫の家族と出会ったのは、お盆休み前のことでした。庭の植栽に水やりをしていた時、なんと!物陰でお母さん猫が仔猫を産んで育てている現場を発見してしまったのです!この母猫はおそらく元飼い猫だったのでしょうか、神経質になるはずの出産直後なのに…初めて会う私達にもすぐく親しげにすり寄って来ました。迷子猫で警察等へ届けを出しても、元の飼い主さんの情報はありません。妊娠したために捨てられてしまったのでしょうか。今までどこでどうやって暮らしていたのでしょうか。とにかく!今は授乳中で栄養をつけないといけない大事な時。情にほだされた店長が「このまま放っておくと親子共々死んでしまう!」と猛ダッシュでキャットフードを買いに行き、会社でのエサやりの日々が始まりました。



その後、安心して子育てに専念出来るもっと良い場所が他に見つかったのか(まさか住宅メーカーのハシゴをしているわけではあるまいね…)仔猫の姿は見えなくなって母猫だけがひとりでエサを食べに通って来ていたのですが、しばらくするとヨチヨチ歩けるようになった小さな仔猫3匹を引き連れて、またうちのモデルハウスに引っ越して来ました。仔猫たちがちょこちょこ遊ぶ姿はとても可愛くて、仕事の合間にそんな親子の様子を眺めては癒されまくりの楽しい毎日が続きました。

でも、このまま会社で野良猫を飼い続けるわけにはいきません。ここらでなんとかしなければ…!!元々猫を飼った経験がありますので、母猫は私が引き取って飼おうかと考えましたが、仔猫3匹まで一緒にはとても無理!そこで、芦屋動物愛護協会に連絡して相談しました。その結果、母猫とキジの仔猫1匹を私が自宅で飼うことにして、白キジと白黒の2匹については、協会に預けて里親探しをして頂くことになりました。(2匹とも無事に譲渡先が決まったという嬉しいニュースも頂きました!本当に良かったです!)

不思議なご縁で我が家の一員となった親子猫ですが、仕事のストレスもふっ飛ばしてくれるこの子たちには「この家に来て幸せ♪」と思ってもらえるよう、これから10数年の歳月を一緒に楽しく暮らしていこうと思っています。今回お世話になった芦屋動物愛護協会の皆さん、本当にありがとうございました。

S.Y.



～ 今後日本の犬社会が目指すものは？ ～

ドイツ・犬物語④「自由と規律」

好評連載

第4弾!



「1位 散歩、2位 食べること、3位 寝ること」

もし飼い犬たちに「あなたの好きなものは？」というアンケートを行えば、こんな回答が寄せられるのではないだろうか。私が住むベルリンは、そんな犬たちにとってはまさにパラダイスのような街である。

たとえば、我が家から車で20分のところにあるグルーネヴァルトの森。近くの駐車場に集まるどの車からも勢よく犬が飛び降りてくる。その眼前に広がるのはベルリン最大で70年の歴史を持つドッグランだ。というよりも、自然森の一部をドッグラン地域に指定したというのが正しく想像もしやすいだろう。

柵も入場料もなく、幅2km、長さ8kmの面積に5つの湖が点在し、その一部は犬専用の水泳場になっている。初めてここに足を踏み入れた時、思わずブリューゲルの絵画『子どもの遊戯』が頭に浮かんだ。大小さまざまな犬があちらこちらで、組んず解れつ転がり回っているのだ。

威勢のいいフォックス・テリアがお人好しのラブラドルを追っかけ回しているかと思えば、ウィペットの細い足にちびのミニチュア・シュнауザーが絡み付いている。地べたで身をよじらせて「一緒に遊ぼうよ!」と誘惑するハスキーを無視してボール遊びをしているシェパード系の雑種…犬好きには心とむしげな光景が続く。

町中にある公営ドッグラン(無料)も、犬が十分運動できるように面積は800㎡以上と決まっているが、それだけでは不十分ということで、ベルリンには市内の森にドッグラン指定地区が計12カ所あり、総面積は1250ヘクタールにも及ぶ。日本とは自然環境が違うから無理とはいえ、広大な森を駆け巡る自由を日本の犬たちにも味合わせたいと誰しも思うに違いない。



しかし、一見自由に見えるドイツのドッグランの裏には、厳しい

約束事が沢山あるのだ。

■呼べば必ず飼い主のところに戻ってくること

■人間や他の犬に不安や危害を与えないこと

■野生動物を威したり危害を与えないこと

(かつて王侯貴族の狩猟場だった森には、今も野生の猪や鹿、キツネやウサギが数多く生息している)

■ジョギングや乗馬中の人を追いかけないことなど。

これらの規則が守れない犬はノーリードで散歩する資格がないとみなされる。

といってもドッグラン入場資格や検定があるわけではない。犬に十分社会性がありほかの犬と上手に付き合えるか、そして他人や動物に危害を与えないかを判断するのは飼い主自身だ。

それを思うと、監視員もいないのにドッグランで傷害事件や裁判沙汰になるようなアクシデントが起きたことがほとんどないのは驚異的なことだ。犬を訓練に出すことが常識になっていることもあるが、飼い主は自分の犬の性格や能力を正しく認識すべきだという自覚がそこにある。

もう一方の当事者の犬たち。六甲山系にも猪がいるので、体験されたことのある方もいるかもしれないが、猪と遭遇しても冷静に無関心でいるなんて、相当厳しく躡けられた犬しかできないことだ。飼い主にも犬にも容易なことではない。ドッグランで遊ぶ自由と遊ばせる自由。それは、規律を守るものだけに与えられた誇るべき自由なのである。

かつて散歩中に猪の気配を感じた途端、母を置いてひとり逃げ出そうとした我が家の駄犬のことを思い出して日本でもこんなパラダイスを実現するには、まだ時間がかかりそうだと感じている。

ベルリン在住 池永 記代美



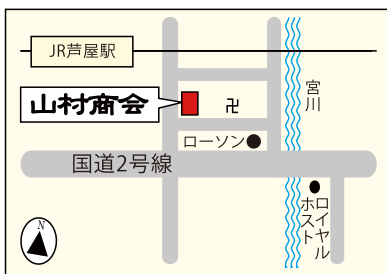
前田町 岸田マリさん

茗荷4才(ビーグル)、七味/2才・生姜/4才(イタリアングレーハウンド)

週末は愛犬と遠出しています。

どちらかという猫派の私なのですが、仕事で犬用の惣菜やお菓子を作っていることから、縁があってこの三頭を飼うことになりました。散歩となるとけっこう大変ですが、毎日朝夕の散歩は欠かしていません。週末には西は新在家、東は苦楽園あたりまで遠出をして着いた先のドッグカフェでお茶をして楽しんでいます。片道5キロぐらいですがこの三頭とだったら街の風景もやさしく見えてきます。

自転車とモーター 山村自転車商會



芦屋市上宮川町4-12
JR芦屋駅東側
TEL. 0797-22-0417

NOZOMI Dog's Preschool ～犬のようちえん～

ワンコたちはお友達と遊んだり先生とトレーニングをして一日を楽しみますお家に帰る頃にはクタクタに疲れて大満足♪やんちゃ盛りのワンコたち、あつまれ～!



☆しつけに関するご相談にお答え致します

住所: 芦屋市山手町28-6 TEL.0797-57-0636

bogienozomi@docomo.ne.jp ☆詳細はお気軽にお尋ねください。

里親さん便り

～新しい飼い主さんとの出会いと近況報告～

① ミックス犬のぴっぴちゃん 宝塚市在住 Sさん

「ほんとに来るんだ。我が家に犬が！」朝から落ちてかめ2月の雪の日のこと。夫の腕の中にすっぽり納まり、小さなぴっぴはうちの子になりました。

事の始まりはその前夜、蟹鍋の席で聞いたわんこの里親探しのおはなし。Uさんがそんなボランティアをしている事も、芦屋動物愛護協会の活動もその時初めて知りました。犬をお店で買う事に抵抗があった私と、飼い主がない犬との運命の出会いです。

初日には、悲しそうに鳴きながらうろうろとUさんたちを探しまわり、ご飯も食べようとしなかったぴっぴでしたが…あれから9ヶ月が経ちすっかり我が家の一員になりました。

新米里親の私達も、Uさんや協会の方からアドバイスを頂きながら、なんとか飼い主らしくなってきたように思います。

ちょうど3番目の息子が巣立った時期でもあり、淋

さを隠せない私達の話はぴっぴのことばかり。3人の息子の子育てにはほとんど参加しなかった夫は初めて子煩悩な父親になりました。

その驚くべき変化は「俺オヤジにそんな優しく呼ばれた事なかったなあ」「どうした？オヤジ？」と息子たちが呆れるほど。正義の味方「番犬ぴっぴ」は、たまにしか帰って来ない彼ら(=不審者)を許さず必死で吠え立て、そんな困った事象には協会からのアドバイスが心丈夫です。

近頃のぴっぴは、よく不思議な場所に丸まって寝ています。(タオルの棚、脱衣籠、空き箱、雑巾の籠、雑貨の木箱 etc.)

「あらあらそんなところにいたの？」と抱き上げるとそこはホカホカ。私たちにたくさんぬくもりをもたらしてくれているぴっぴです。

息長く活動を続けてこられた動物愛護協会の皆様、ありがとうございます。これからもどうぞよろしく！



② 成猫のホヨちゃん 改め ボーノちゃん 山手町在住 Tさん

私がホヨちゃんの里親募集を知ったのは、20歳の老猫を天国に送った直後のことでした。動物病院に貼ってあったポスターがずっと気になっていて忘れられず、思い切って里親希望を申し出たのでした。

お見合いをしてみたら縁談成立！でも、我が家には先住の犬(図体に似合わず怖がりの4歳になるゴールデン)とチビ猫(生後7ヶ月のキジ)が居ます。ホヨちゃんは、そんな我が家の先住さん達と仲良く同居出来るのでしょうか。少し不安も感じます。最初のうちはケージに入れて別の部屋で…という協会の方のアドバイスを受けて、トライアルしてみることにしました。

そして数日後、我が家にやってきたホヨちゃんは、怖がる様子も見せず鳴く事も無く、バスケットの中からケージを組み立てる私達を見つめていました。大丈夫かなあ…と思いつつカゴのふたを開けてみたら、ピョコッと顔を出したかと思うと、直ぐにすり寄ってきてくれました。これは嬉しかったですね～

ホヨちゃん改め「ボーノ」と命名。ホヨちゃんが違和感を感じないように同じ母音で考えた名前です。(BUONOはイタリア語で「おいしい!」の意味)最初は、ケージに入れて扉は開けて部屋を閉め切った状態にしてその日1日過ごしてもらいました。落ち着いていて大丈夫そうなので、翌日は2階の部屋の扉を全部開けて、2階を自由に探検できるようにしてみました。

その後、ワンコとの対面をしたのですが、なんと！彼は自分から犬に擦り寄って行くではないですか。これには驚きました！まったく犬を怖がらないのですから。やがて、興味津々のチビ猫もやってきました。

先住の彼等に会ってもまるで自分がこの家の主だと言わんばかりに落ち着いた様子のボーノ。その物怖じしない様子には娘と笑ってしまいました。

翌日には、皆と平気でリビングで寝ているし、チビ猫のトイレを使っているし。なんて順応性のあるコなんでしょう！どうして、このコが今まで幸せになれなかったのでしょうか？

「うちに来るために待っててくれたんだよ」娘がそう言います。「そうだねー」私も、おなかの上で寝ているボーノをなでながら答えます。

ボーノは本当に可愛いくて性格の良いコです！チビを抱きしめて舐めてくれるのですよ。チビもそれに応えています。なんと心和む光景でしょうか。そうかと思うと、突然鬼ごっこが始まって家中を駆け回っています。時々ワンコも一緒に参加して大騒ぎ！



彼を保護してくださった方、一時預かりやお世話をして下さった皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの温かい手がなければ、このコは私達の元にはやって来られなかったでしょう。皆さんの愛情に包まれて、ボーノは優しいニャンコに育ってくれています。家族の一員として、最後まで大切に守っていきますので、ご安心下さいね。

里親募集のポスターは、市内の動物病院と協会の動物掲示板(市内16所)やペットショップで掲示しています。ポスター掲示にご協力頂ける方は、是非お申し出下さい。





名犬育成講座 10 クレートトレーニングのすすめ

～パートナードッグクラブしつけ方教室より～

「檻に閉じ込めるなんて、ワンちゃんが可哀想!」そう思っている人は、世の中には多いかもしれません。でも、犬という動物の習性をよく知って考えてみると…本当に可哀想なことなのでしょうか?犬がハウスに入る練習をすることで、飼主さんにも犬にもメリットがたくさんあるので、これを利用しない手はありません。名犬になるための必須課目とも言えるでしょう。



- ゆっくりと安心してくつろげる場所ができる** (犬は狭い自分だけの落ち着ける場所が欲しいもの)
- トイレのしつけが効果的にできる** (トイレトレーニングを確実にするには部屋中野放しにしないこと)
- 主従関係を改善できる** (ボス化した犬の順位を下げる事が出来る)
- 安心して外出できる** (落ち着いてお留守番することが可能に／イタズラの心配が解消)
- 旅行やドライブが安全にできる** (運転中の危険が解消／他人に迷惑をかけずに済む)
- ペットホテルやもしもの入院のときにパニックにならない** (自分用の居場所で静かに落ち着ける)
- 無駄吠え等の問題行動の抑止になる** (犬が守ろうとするテリトリーが狭くなる) 等々…

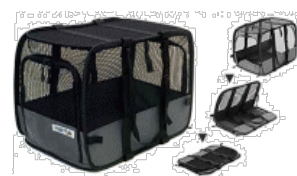
ただし、注意すべき点もあります。それは…

決してクレートを「罰」として使わないこと!!

クレートはあくまで「くつろぎの場所」であるべきです。

おしおきとしてクレートに放り込まれば、犬にとってそこは「恐ろしい檻の中」になってしまいます。

クレートを大好きにすることが、トレーニングの大切なポイントなんです。



そのためには…

- ◎食事をクレートの中でする・大好きなおやつをあげる・好きな敷物を入れる等の工夫が必要
- ◎扉のロックは犬がクレートに慣れてから、時間も短めに…ゆっくりあせらず!
- ◎大型犬の場合なら、飼い主が先に入って見せたりするのも楽しい練習法かも!
- ◎犬が「出して出して!」と盛んに吠えたからといって、その要求に応じてクレートから出してはダメ! その時はジッと我慢の無視をすること。(吠えたら出してもらえると犬が学習してしまいます) 静かになったのを見計らって、オスワリをさせてから出しましょう。

とても重宝するお勧めのトレーニングです。是非練習してみてくださいね!

犬用ケージやハウスは色々な種類の素材やデザインの物がありますので、嫌がるワンちゃんには、抵抗感の無いものから始めてみましょう

雨模様の 動物慰霊祭



朝からあいにくの雨となってしまった9月19日、芦屋市霊園事務所2階会議室において、動物慰霊祭が行われました。愛護協会関係者やペットを亡くしたという市民の方、東京からかけつけた方々も加わって、約30人の出席がありました。動物塚でお参りした後、ありし日のペットの写真が展示された会議室に集まって、亡きペットの冥福を祈りながら献花と焼香。それぞれの動物への温かい想いのこもった自己紹介に耳を傾けながら、思い出話を花を咲かせたひとときでした。

子供の頃に飼っていたペット達も 動物塚で眠ってる?

その昔、お庭で飼っていた犬や猫が亡くなった時に芦屋市役所に引き取りを依頼したことがある市民の方々は、沢山おられると思います。でも、その当時納骨について訊かれた方は少なかったかもしれません。

昭和43年以降に役所に引き取られたペットの遺体は、火葬場の動物専用炉で火葬された後、芦屋市霊園にある動物塚に納骨されており、芦屋動物愛護協会では、毎年秋の動物愛護週間の時期(お彼岸の頃)に動物慰霊祭を行っております。

慰霊祭の日程は、広報あしや9月号でご案内しておりますので、どうぞ皆様お誘い合わせのうえご参列下さい。

動物愛護基金とバザー報告

春

平成20年5月18日(日) 10:00~15:30 快晴 芦屋市総合公園『春の大園遊会』フリーマーケット会場
バザー品提供者:40名以上 準備・片付作業スタッフ:5日間でのべ23名 当日販売スタッフ:12名 他 販売品搬送:2名

収入 175,403円 (収入内訳)	168,780 バザー品売上 3,548 バザー会場募金箱 3,075 ビール券換金(ご家庭で眠っていたビール券をご提供頂きました)
支出 8,715円 (諸経費内訳)	3,000 出店料 1,415 ガムテープ他消耗品 4,300 総合公園駐車料金 0 スタッフ昼食&飲物代(スタッフの昼食は差入あり)

..... 収支166,688円

秋

平成20年10月12日(日) 9:00~15:00 晴 芦屋市立精道小学校 グラウンド『あしや秋まつり』縁日会場
バザー品提供者:35名以上 準備・片付作業スタッフ:6日間でのべ24名 当日販売スタッフ:9名 販売品搬送:2名
(学生ボランティア2名含む)

収入 224,690円 (収入内訳)	210,195 バザー品売上 3,324 バザー会場募金箱 2,171 寄贈頂いた募金箱 9,000 寄付金(4名分)
支出 29,002円 (諸経費内訳)	12,000 出店料 6,532 段ボール、ガムテープ他 消耗品 4,690 バザーお知らせ&お礼状発送費 5,780 スタッフ昼食&飲物代(準備期間含む)

..... 収支195,688円

動物愛護基金(旧 野良猫基金)バザーは、皆様のご厚意に支えられ、今秋で8回目の開催となりました。今回も予想以上に数多くの販売品が寄せられ、過去最高の20万円を越える売上がありました。皆様のご協力に深く感謝致しております。ありがとうございました。

この基金の用途は、保護動物の医療費・養育費など里親譲渡までにかかる諸経費と野良猫の不妊手術の助成金(手術費用の個人負担が見込めない場合)に限定しています。

しかし、昨年度は保護動物の医療費が嵩んだうえ、より積極的に野良猫の不妊手術に取り組んだ結果、支出が収入を上回ったため、本年度バザー収入は高額ではありましたが、未だ赤字解消には至っていないのが現状です。

保護を求めている動物に応えたいとする現場と基金の残高とのバランス調整を考えつつ、この愛護活動が疲弊しきってしまわないような体制づくりを目指しながら、日夜動物達のためにスタッフ一同頑張っております。

これからも動物愛護基金活動に皆様のご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

寄付金一覧(4月~11月受領分)

合計金額304,000円

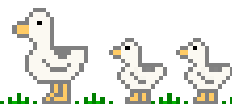
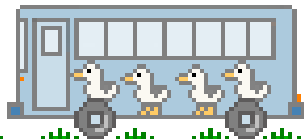
4月 前田町 K 様(会員) 5,000 浜芦屋町 I 様(会員) 10,000	9月 西宮市 M 様 50,000 浜町 Y 様 3,000 平田町 K 様 1,000
5月 松浜町 A 様(会員) 1,000 浜風町 H 様 30,000 山手町 S 様(会員) 10,000 岸和田市 O 様 30,000	10月 松浜町 I 様(会員) 4,000 西宮市 Y 様 5,000 松ノ内町 S 様(会員) 2,000 業平町 S 様(会員) 1,000 業平町 Y 様(会員) 1,000 朝日ヶ丘町 I 様 10,000
6月 松原市 K 様(会員) 5,000 伊勢町 T 様 15,000 茶屋ノ町 U 様(会員) 4,000 新浜町 Y 様(会員) 2,000 松浜町 M音楽教室 様 10,000	11月 浜町 I 様(会員) 40,000 打出小槌町 K 様 20,000 浜風町 H 様 30,000
8月 奈良県 U 様 15,000	

早春バザー開催なるか!?

2月頃、精道町の会員様宅にて堂々オープン?特設ワンデイ・リサイクルショップ開催に向けて企画立案中。
実現出来たら楽しいですね♪

開催が決まりましたら、皆様のおうちに眠っている贈答品の食器類・タオル・シャツ類など、或いはブランド洋品など(いずれも未使用の新品、もしくはそれに準ずるもの)のご提供をお願い致します

バスツアーで訪れた 六甲山牧場と王子動物園



去る6月13日芦屋動物愛護協会バスツアーが実施されました。

心配されていた天候も参加者のご精進のお陰で晴天に恵まれ、ゆったりとしたバスの中ではお友達とおしゃべりをしたり、松永さん力作の資料を眺めたりしている間に六甲山自然保護センターに到着。

ウグイスの鳴き声を聞きながら新緑に囲まれた六甲山の景色を眺め、又センターの中ではビデオによる六甲山についての説明を聴いて楽しんだりしている間に時間となり、予約している六甲ビュウパレスで少し早めの昼食になりました。見晴らしの良い所でゆっくりと食事をとり又お土産などの買い物を楽しんで次は六甲山牧場へ。

六甲山牧場では広いグリーン芝生の上で白い羊が三々五々草を食べたり寝そべったりと普段の生活にはないようなゆっくりした時間が流れていました。羊の肌に触れると柔らかい感触にホッとするような安らぎを感じました。チーズ工場を見学する人、お土産を買う人、ソフトクリームに舌鼓を打つ人とそれぞれに楽しいひとときを過ごしました。

いよいよ最後の目的地に期待を膨らませながら、バスは王子動物園へ。

まずフラミンゴの大所帯にびっくり!赤いスマートな足を片足上げていたり、又可愛い赤ちゃんは柔らかそうなグレーの産毛に包まれてチョコチョコ歩いている感じがとても微笑ましい。期待のパンダの1頭は背中を向けてお食事中、別の1頭は人参を大儀そうに食べていました。コアラ、白熊、ライオン、象、カバ・・・皆それぞれお気に入りの所で足を止めて眺めていました。初めて来た人、久しぶりに来た人とそれぞれ違っていても非日常的な空間で暫く童心に帰って楽しい気分が味わえました。

今回は近い所だったのでゆっくりと1日が過ごせたバスツアーでした。

Y・I

出張しつけ相談のご案内(マンツーマン型 ワンコイン・レッスン)

犬のしつけ方1日教室を受講された皆さんを対象に復習サポートの目的で、家庭訪問型の犬のしつけ相談を今年の夏から行っています。どうぞお気軽にお申し込み下さい。



例えば…

- ドアホン・来客時にうるさく吠えるのを止めさせたい
 - トイレのしつけで失敗!部屋中がトイレに!!これってやり直せる?
 - 嫌がるハウストレーニングはどうすれば出来る?
 - 朝から晩までうるさく鳴いてご近所から苦情が…!!
 - パパの言うことはきくのにママには反抗的で困る
 - ドッグカフェやドッグランに行ってみたくけど…
- …などなど各家庭のニーズに応じて色々なパターンに対応します

FAX・ハガキまたはEメールに必要な事項をお書きのうえ、芦屋動物愛護協会まで

必要事項

- ①住所 ②氏名 ③電話番号・携帯電話番号
- ④犬の名前・犬種・性別・年齢
- ⑤相談したい内容を簡単に
- ⑥ご希望の曜日や時間等があれば
(ご希望に添えない場合もあります)



- ◆募集期間:いつでも可(但し、順番を待つて頂くことがあります)
- ◆過去4年間に芦屋動物愛護協会のしつけ方教室に参加された方に限ります
- ◆相談料:500円 ◆教室のスタッフが家庭訪問をして具体的なアドバイスを致します
- ◆時間は約1時間~2時間(犬の状態により多少の違いはあります)
- ◆ケージやサークル、しつけ用グッズなどのレンタル相談にも応じます

これからの予定と 新着情報

■新年互礼会

2009年1月13日(火)
11時30分から受付
ホテル竹園 会費:5,000円

■犬のしつけ方1日教室

1月27日(火)13時~15時
商工会館 会議室
2月26日(木)13時~15時
商工会館 会議室

■芦屋川クリーン作戦

3月下旬の午前中
開森橋と市民センター前
2カ所に集合

- 野良猫と平和に共生出来る街づくりを実現するために地域住民とのパイプ役となる相談員を協会内で養成する予定です。皆様のご協力をお願いします。

入会案内と 寄付の受付

会費1,000円/年(入会金なし) 動物を愛する全ての方の入会を歓迎致します。寄付も下記で受け付けております。

1 協会事務局(芦屋市役所・経済課)窓口にて

2 郵便振替口座へ送金

住所・氏名・電話番号をご記入のうえ 会費を添えて 口座番号:00960-8=265605 口座名:芦屋動物愛護協会

芦屋動物愛護協会 Ashiya Society for the Prevention of Cruelty to Animals

事務局:芦屋市役所経済課内 電話:0797-38-2033 Web:http://www.ashiyaanimalsociety.com/ Mail:ashiya_animal@hotmail.com